

1 調査方針等

1.1 調査目的

本調査は、大阪府港湾局の委託を受けて、堺泉北港（阪神港堺泉北区）助松第9号岸壁にクルーズ客船を受け入れる場合の受け入れ可能な最大船型と、その入出港に係る航行安全対策を取りまとめることを目的とした。

1.2 調査名

「堺泉北港 クルーズ客船入出港に係る航行安全対策検討調査」とした。

1.3 調査方法

1.3.1 委員会の設置

学識経験者、海事関係者及び関係官公庁職員等からなる「堺泉北港 クルーズ客船入出港に係る航行安全対策検討調査委員会」を設置し、検討資料に基づき検討した。

検討資料は、委託者である大阪府港湾局から提供を受けた資料を基に、公益社団法人 神戸海難防止研究会（以下、「海防研」という。）が専門的立場から検討し、必要に応じ海防研常任調査研究委員等の参画を得て作成した。

1.3.2 検討部会の設置

操船シミュレータ実験に関する技術的、実務的な内容にわたる事項に関しては、上記委員会のもとに少数の委員等からなる「堺泉北港 クルーズ客船入出港に係る航行安全対策検討調査検討部会」を設置して検討し、検討結果を委員会に報告した。

1.3.3 委員会等の構成

(1) 委員会の構成

委員会の構成は以下のとおりとした。

(順不同・敬称略 ※海防研常任調査研究委員)

| | | |
|----|---------|-------------------------|
| 委員 | 浅木 健 司 | 海技大学校教授※ |
| 〃 | 藤 本 昌 志 | 神戸大学大学院海事科学研究科准教授※ |
| 〃 | 山 田 哲 也 | 大阪湾水先区水先人会副会長※ |
| 〃 | 松 岡 耕太郎 | (一社)日本船長協会技術顧問※ |
| 〃 | 松 浦 寛 | 日本郵船(株)関西支店支店長代理※ |
| 〃 | 宮 田 浩 | (株)商船三井海上安全部プロジェクトリーダー※ |
| 〃 | 植 田 博 | 川崎汽船(株)関西支店副支店長※ |
| 〃 | 田 渕 訓 生 | 全国内航タンカー海運組合関西支部長 |
| 〃 | 白 野 哲 也 | 大阪フェリー協会専務理事 |
| 〃 | 武 田 正 之 | (公社)関西小型船安全協会会長 |
| 〃 | 中 原 敏 之 | 大阪海運組合理事長 |
| 〃 | 小 川 謙 二 | 大阪府タグ事業協同組合理事長 |
| 〃 | 宮 澤 章 | 堺・泉北臨海特別防災地区協議会会長 |
| 〃 | 堀 口 貴 久 | 堺泉北船舶安全協議会会長 |

以上 14 名

| | | |
|-------|---------|----------------|
| 関係官公庁 | 伊 藤 卓 郎 | 第五管区海上保安本部交通部長 |
| 〃 | 中 村 明 | 大阪海上保安監部長 |
| 〃 | 高 橋 裕 之 | 堺海上保安署長 |
| 〃 | 杉 中 洋 一 | 近畿地方整備局港湾空港部長 |
| 〃 | 柴 宮 義 文 | 近畿運輸局海上安全環境部長 |

以上 5 名

委 託 者 大阪府港湾局

事 務 局 公益社団法人 神戸海難防止研究会

<堺泉北港 クルーズ客船入出港に係る航行安全対策検討業務委託>

(2) 検討部会の構成

検討部会の構成は以下のとおりとした。

(順不同・敬称略 ※海防研常任調査研究委員)

| | | |
|-----|---------|-------------------------|
| 委 員 | 藤 本 昌 志 | 神戸大学大学院海事科学研究科准教授※ |
| 〃 | 浅 木 健 司 | 海技大学校教授※ |
| 〃 | 山 田 哲 也 | 大阪湾水先区水先人会副会長※ |
| 〃 | 松 岡 耕太郎 | (一社)日本船長協会技術顧問※ |
| 〃 | 松 浦 寛 | 日本郵船(株)関西支店支店長代理※ |
| 〃 | 宮 田 浩 | (株)商船三井海上安全部プロジェクトリーダー※ |
| 〃 | 植 田 博 | 川崎汽船(株)関西支店副支店長※ |
| 〃 | 白 野 哲 也 | 大阪フェリー協会専務理事 |
| | | 以上 8名 |

| | | |
|-------|---------|----------------|
| 関係官公庁 | 伊 藤 卓 郎 | 第五管区海上保安本部交通部長 |
| 〃 | 中 村 明 | 大阪海上保安監部長 |
| 〃 | 高 橋 裕 之 | 堺海上保安署長 |
| | | 以上 3名 |

委 託 者 大阪府港湾局

事 務 局 公益社団法人 神戸海難防止研究会

1.4 調査検討項目

- (1) 受け入れクルーズ客船の入出港（着離岸及び係留を含む、以下同じ。）に係る安全性の検討
- (2) 受け入れクルーズ客船の入出港に係る航行安全対策の検討

1.5 調査条件

1.5.1 調査期間及び調査内容

- (1) 調査期間：平成30年8月10日から平成31年2月28日
- (2) 委員会2回、検討部会1回、ビジュアル操船シミュレータ実験を1回開催した。

1.5.2 安全性の検証条件

安全性の検証には、ビジュアル操船シミュレータ実験を行った。

1.6 委員会等での検討事項

1.6.1 第1回委員会

- (1) 調査方針
- (2) 対象水域及び対象船舶の概要
- (3) 堺泉北港の航行環境
- (4) ビジュアル操船シミュレータ実験実施方案

1.6.2 ビジュアル操船シミュレータ実験

1.6.3 検討部会

- (1) ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果の解析・評価
- (2) 係留時の安全性の検討
- (3) 運用上の課題と航行安全性の検討
- (4) 航行安全対策（粗案）の検討

1.6.4 第2回委員会

- (1) ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果の解析・評価（検討部会報告）
- (2) 入出港に伴う航行安全性及び係留安全性
- (3) クルーズ客船入出港に係る航行安全対策
- (4) 報告書の構成

1.7 調査の流れ

調査の流れは、図 1.7.1の調査フロー図のとおり。

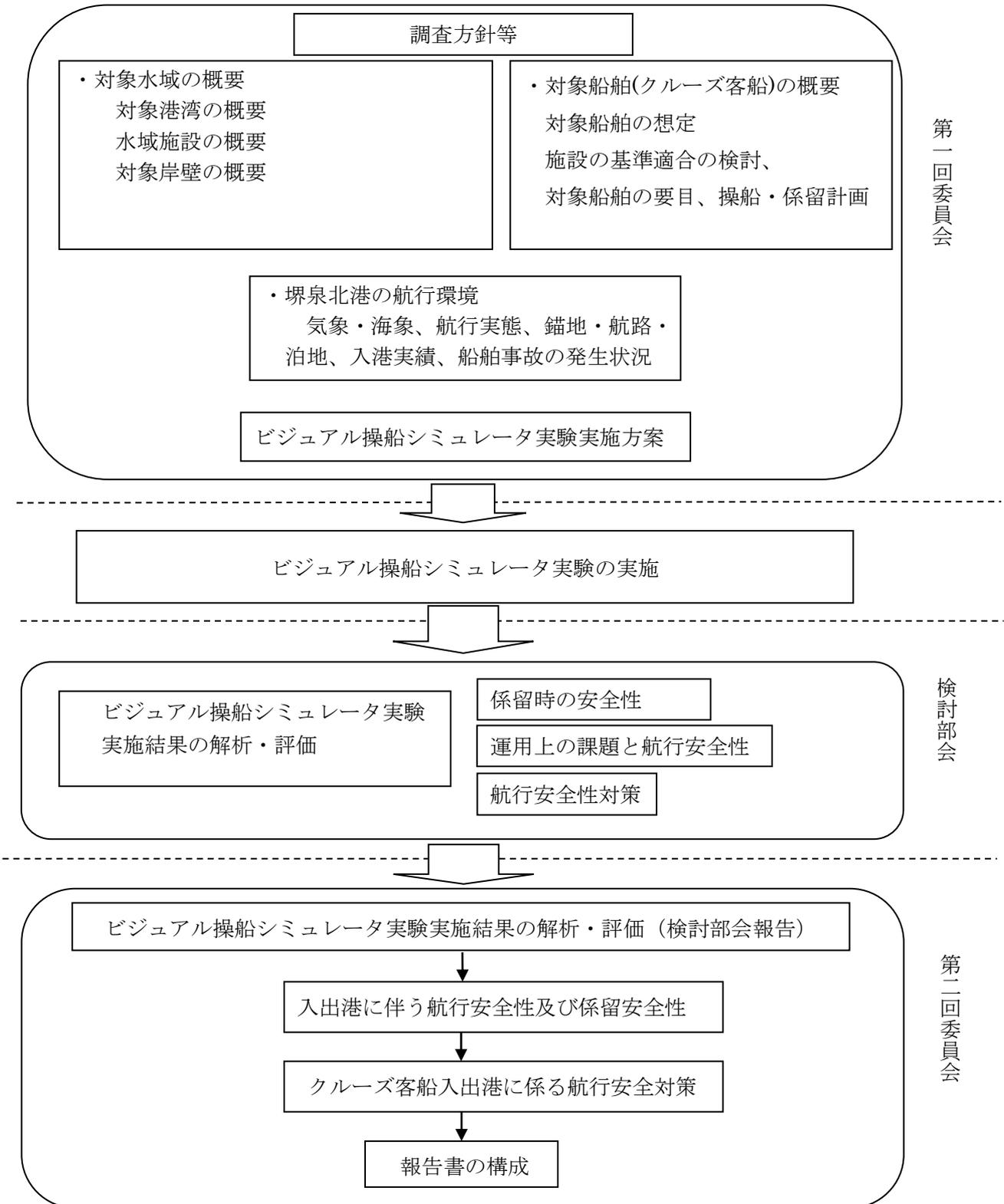


図 1.7.1 調査フロー図

1.8 委員会等の開催状況

委員会等を以下のとおり開催した。

1.8.1 第1回委員会

- 1 日 時 平成30年10月9日（火）13：30～15：40
- 2 場 所 ラッセホール 地下1F リリーの間
- 3 出席者 学識者、海運実務者、関係官公庁、委託者、事務局
- 4 議 題
 - (1) 調査方針について
 - (2) 対象水域及び対象船舶の概要について
 - (3) 堺泉北港の航行環境について
 - (4) ビジュアル操船シミュレータ実験実施方案について
- 5 検討資料
 - (1) 検討資料委 1-1 調査方針（案）
 - (2) 検討資料委 1-2 対象水域及び対象船舶の概要（案）
 - (3) 検討資料委 1-3 堺泉北港の航行環境（案）
 - (4) 検討資料委 1-4 ビジュアル操船シミュレータ実験実施方案（案）

席上配布

- ・席上配布資料委 1-1 検討資料委 1-2（P10, 11 差し替え）

1.8.2 ビジュアル操船シミュレータ実験

- 1 日 時 平成30年11月16日（金）09：00～17：00
- 2 場 所 神戸海事センター（神戸大学深江キャンパス）
- 3 出席者 学識者、海運実務者、関係官公庁、委託者、事務局
- 4 操 船 者 大阪湾水先区水先人会水先人

1.8.3 検討部会

- 1 日 時 平成30年12月13日（火）13：25～16：05
- 2 場 所 ラッセホール 地下1F リリーの間
- 3 出席者 学識者、海運実務者、関係官公庁、委託者、事務局
- 4 議 題
 - (1) ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果について
 - (2) 係留時の安全性検討について
 - (3) 運用上の課題と航行安全性について
 - (4) 航行安全対策（粗案）について
- 5 検討資料

< 堺泉北港 クルーズ客船入出港に係る航行安全対策検討業務委託 >

- (1) 検討資料部-1 ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果 (案)
- (2) 検討資料部-2 係留時の安全性検討 (案)
- (3) 検討資料部-3 運用上の課題と航行安全性 (案)
- (4) 検討資料部-4 航行安全対策 (粗案) (案)

1.8.4 第2回委員会

- 1 日 時 平成31年1月18日(金) 13:25~14:40
 - 2 場 所 ラッセホール 地下1F リリーの間
 - 3 出席者 学識者、海運実務者、関係官公庁、委託者、事務局
 - 4 議 題
 - (1) 第1回委員会議事概要について
 - (2) 検討部会報告について
 - (3) ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果について
 - (4) 係留時の安全性検討について
 - (5) 運用上の課題と航行安全性について
 - (6) 航行安全対策について
 - (7) 報告書構成について
 - 5 検討資料
 - (1) 第一回委員会議事概要 (案)
 - (2) 検討資料委 2-1 ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果 (案)
 - (3) 検討資料委 2-2 係留時の安全性検討 (案)
 - (4) 検討資料委 2-3 運用上の課題と航行安全性 (案)
 - (5) 検討資料委 2-4 航行安全対策 (案)
 - (6) 検討資料委 2-5 報告書構成 (案)
- 席上配布
- (1) 席上配布資料委 2-1 第1回委員会及び検討部会での指摘事項
 - (2) 席上配布資料委 2-2 差し替え資料

1.8.5 審議結果

委員会で発言された指摘、意見を盛り込んで修正することを前提に検討資料が了承された。